

柳田國男生誕 150 年記念展

柳田國男展

～日本民俗学の父と故郷の縁～

2025.

10.4(土) ▶ 12.7(日)

[開館時間] 9:00～16:30

(入館は16:00まで)

[開催場所] 福崎町立柳田國男・松岡家記念館

[休館日] 月曜日 (祝日の場合は開館)・
祝日の翌日

[入館料] 無料



○主催 / 福崎町教育委員会 ○協力 / 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

柳田國男・松岡家記念館

Kunio Yanagita and the Matsuo Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038-12 Tel.0790-22-1000

<https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/kinenkan/>

柳田國男生誕 150 年記念展

柳田國男展

～日本民俗学の父と故郷の縁～

令和 7 年 10 月 4 日（土）～ 12 月 7 日（日）

令和 7 年は、「日本民俗学の父」と称される
柳田國男生誕 150 年の記念となる年です。

柳田國男は、明治 8 年（1875）7 月 31 日に
神東郡辻川村（現福崎町西田原）で生まれ
ました。

國男が生を受けた松岡家は、國男の曾祖父の
代より当地の大庄屋三木家と積極的に交流した
医と学問の家でした。國男は 10 歳までこの地で
育ち、13 歳で播州を離れた後も故郷の人々との
交流を続け、人生の折々に帰郷しては変わりゆく
様子を著書にしたためています。人々の生きた
歴史を記録に残し、よりよい生き方を模索し続け
た國男の目は、次第に世界へと向けられるよう
になりましたが、その学問の根底には、「故郷 ふく
さき」での経験が息づいていました。

本展では、当館に寄贈された資料のなかから、
國男の幼少期の証書類や、故郷の人々を取り
交わした書簡などを展示します。88 年の生涯を
通じて途切れることのなかった故郷とのつながり
や、福崎の人々との絆について取り上げます。



講演会のご案内

『柳田國男自伝』の読み方

講師：石井正己氏



令和 7 年 11 月 15 日（土）

時間：13 時 30 分～

場所：神崎郡歴史民俗資料館

近隣の催し

◆神崎郡歴史民俗資料館

令和 7 年度特別展

「戦後 80 年 福崎と戦争

一区有文書が伝える戦争一」

12 月 7 日（日）まで

◆大庄屋三木家住宅

「柳田國男 竹馬の友 三木拙二」

11 月 30 日（日）まで

掲載資料

表面
柳田國男肖像

裏面

上：証書（下等小学第一級卒業）

中：御大礼装束（太刀）

下：三木拙二宛柳田國男絵葉書
（ヴェネツィアより送られたもの）

〔大庄屋三木家資料〕

柳田國男・松岡家記念館

Kunio Yanagita and the Matsuoka Family Memorial Museum established by Fukusaki Town

兵庫県神崎郡福崎町西田原 1038-12 Tel.0790-22-1000

<https://www.town.fukusaki.hyogo.jp/html/kinenkan/>